

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2017

8月号
vol.613

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

田川支部スタート

21世紀型
自立型
企業づくり

100年企業が『改革』に挑む
鹿田 和正 氏 [株式会社 鹿田産業]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます!

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は
P2をご覧ください

福岡同友会へ
Message

福岡市長
たかしま そういちろう
高島 宗一郎 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、福岡市の経済の重要な担い手である中小企業の振興と地域の発展に大きく貢献していただいております。役員並びに関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

福岡市は、人口が156万人を超え、観光客数や外国人入国者数なども過去最高を更新するなど、住みやすいまち、元気なまちとして成長を続けており、今後もビジネスチャンスが生まれる都市だと考えています。

4月にはスタートアップ支援を集約した「FUKUOKA growth next」が旧大名小学校跡地にオープンし、高い成長が期待される企業やスタートアップとの連携に意欲的な企業など、国内外から集まった多彩な企業が活動を始めています。地場企業との化学反応により、新しい価値が創造されることを期待しています。

また、中小企業の皆様の経営の革新や経営改善などの自主的な取り組みをさらに支援していくため、今年7月「福岡市中小企業振興条例」を改正しました。中小企業への融資や販路拡大による経営基盤の強化や、商店街や伝統産業の振興、成長産業の育成や海外への事業展開、観光・MICEの振興などの施策を推進してまいりますので、皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北九州市長
きたはし けんじ
北橋 健治 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、昭和38年の設立以来、中小企業家が学び合う場を提供し、本市中小企業の振興に多大なるご尽力をいただいております。役員ならびに会員の皆様に、深く感謝申し上げます。

我が国の生産年齢人口は、今後、急激に減少していくことが見込まれており、働き手の不足は、企業の経営状況や市民生活に大きな影響を及ぼします。このため、本市では、「生産性改革」を今後の産業政策の大きな柱として位置づけ、地方における生産性改革のフロントランナーを目指しています。

また、オール北九州で地方創生に取り組んでおり、その実現には、女性や若者をはじめとした新しい人の流れをつくることが重要です。このため、「市内企業へ就職する新卒者等の奨学金の返済支援」、「現場で生き生きと働く若手職員の姿を紹介する専門サイトの運営」及び「中小製造業・建設業における女性の職場環境改善の支援」など特色のある取組を推進しています。

今後とも、地域経済の発展に全力を尽くし、新たな雇用の創出や市民所得の向上に努めてまいりますので、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友8月号 自立型企業づくり
はみだしレポート

共同求人委員長
貼りアップ株式会社
代表取締役 濱田 浩光 (南支部)

鹿田さんには現在、共同求人委員会でも委員長としての役割を受けていただいております。新卒採用の取り組みもさることながら、共育委員会にも社員と一緒に参加されています。普通の会員さんは、支部例会に参加して自社の役に立つ経営のヒントを得ていると思いますが、鹿田さんは、県の委員会の活用が上手い経営者だと思います。自社の経営課題が明確で、それを各委員会に参加して解消している会員さんです。

福岡同友会の委員会開催は、ほとんどが福岡地区開催なのですが、八女の方から参加している行動力溢れる経営者ですね。

人間的に面白味もあり私と違ってネガティブ思考でないところ(笑)が偉いところです。

これから益々高齢化が進み、若者が地元から流出していきます。地域により新卒採用が困難な状況が進んでいます。同友会会員企業だからこそ、未来を担う若者が地元で生き生きと働く会社づくりに取り組んでいくことを期待しています。



株式会社
鹿田産業
代表取締役社長
鹿田 和正 氏
(福友支部)

本誌p7掲載

【今月の表紙】 撮影：富谷 正弘 (株)ココスイメージ(玄海支部)



すだれを製造する鹿田産業。そこに「TOYOTA」と書いてあるミシンがありました。トヨタと言えば、今や世界をリードする自動車メーカーですが、もともとは豊田自動織機という会社で織機を作っていました。この機械をはじめ多くの機械が「100年企業」を支えています。

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見られます!

STEP 1 ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)

App Store
Google Play Store

COCOAR2 検索

STEP 2 SCAN!!

「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

田川支部 スタート



支部設立後はじめての支部例会 三つの目的唱和

田川支部は今年の4月10日に、田川支部設立総会を開催し、21番目の支部としてスタートしました。2年前に筑豊地区会において福岡地区会長(当時)の下、支部設立準備委員会が立ち上がりました。設立までは大変でしたが、のおがた支部および飯塚支部のご協力により無事に設立したことを報告いたします。

福岡同友会会員の皆様には、田川と関係がない会員の方々にも設立のために毎月田川へ足を運んでいただき、支部設立に尽力していただいたことを、まずはお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、支部発足は22名でのスタートとなりましたが、今後も同友会活動を進めることにあたって会員の皆さんの協力なくしては、田川に同友会理念を広めることはできません。今後ともご協力をお願い申し上げます。

田川支部会員一同



支部設立後はじめての支部例会であいさつする堀支部長

支部長の思い

田川支部長 堀 弘道

私は、この同友会は本当に良い会だと思っていますし、地域の経営者には必要な団体だと思います。先輩経営者がやってきた失敗例や成功例を包み隠さず教えてくれ、同業の経営者にも経営指針書を見せてくれ、経営を教えていただけました。また、県には学ぶ機会が沢山あります。地域は、どんどん過疎化して、目に見えて人がいなくなっていることがわかります。商店や企業が減っています。我々、経営者がしつかり経営を勉強して雇用を生み、地域と深く関わっていかないと、私たちのふるさととはなくなってしまう。

田川支部には、準備委員会の立ち上げ当時から福岡同友会の中山相談役が、毎月欠かさず例会や役員会に参加され、指導していただいております。私なりにやってきた経営は、考え方がごとく違っていたと衝撃でした。何のために経営するか、社員との関係、そもそもの考え方が違っていたから、方向性がブレてしまっていました。只今、猛勉強中です。そのため、私には同友会で学んだことを若い後輩の経営者に伝える義務があります。また、過疎化が進んでいる田川のために、同友会を広める活動が急務となります。学んだ経営者が雇用を生み、地域の子供が

地元で働ける企業となるように会員皆で勉強しています。

そんな中、地域の他団体の方々や金融機関の方々から、「同友会田川支部の〇〇さんところの会社、この頃変わったね」とよく言われるようになりました。本当に自分のことのように嬉しく、会員の企業が今からどう変わっていくのを見ることがあります。

発足式典報告

田川支部設立総会後に発足式典を開催しました。のおがた支部や飯塚支部の会員はもちろんのこと、代表理事や他地区の会員の方々、中同協から平田事務局長にもご参加いただきました。また、来賓は二場公人田川市長をはじめとする田川市町村の首長、筑豊地域の行政機関、各諸団体の方々など総勢九十一名もの方に参加いただき、田川支部の船出を華々しく祝っていただいたこと、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

田川地域での同友会の認知度は、三年前には皆無でした。田川市中小企業振興基本条例の制定から深く地域に関わり、昨年開催した藻谷浩介氏(「デフレの正体」、『里山資本主義』の著者)の講演など、現在、地元首長や行政の信頼をもらい、地域と共に育つ若き経営者を育てる会として期待されるようになっていきます。

田川支部運動方針スローガン

「地域と共に育つ企業づくり」
「人を生かす経営が地域を支える企業となる」

活動紹介

基本的な活動は、地域の子供たちに地域に残ってもらえるためには何が必要であるかを考え、私たち経営者が経営環境を整備し、経営指針書に基づいた経営をすることです。そして、人を生かす経営を実践することで、大手企業にはない魅力ある企業となるのが大事だと考えます。

行政や他団体との関わり
田川市では、一昨年に制定された中小企業振興基本条例に基づく産業振興会議が設置されました。中山相談役が会長となり、田川市、商工会議所、法人会、民商や各諸団体、各金融団体、各市民団体の代表で組織されました。産業振興会議の実務責任者会議の委員長には堀支部長が任命され、5名の同友会会員が委員として活躍しています。行政から信頼をいただき、他団体からも評価され、地域の信用金庫から提携を期に、共に連携して

藻谷浩介氏の講演を受けて

昨年、中小企業振興基本条例の制定に伴う勉強会として、『里山資本主義』で有名な藻谷浩介氏(日本総合研究所首席研究員)に講演していただきました。一番印象に残っている言葉は、イメージは事実と違い、常に事実を数字で確認しないとということでした。

藻谷氏は、「地方が全然ダメで、福岡市だけが良いと思ってるでしょ?」と問いかけ、大量の資料を出して説明しました。イメージで福岡市が良いと思うところが危険で、地方には、ある取り組みをすれば、生き残るチャンスがあるということでした。日本の中で、三百年経っても今と変わらず街が維持できるのは、鳥根の隠岐の島でした。「えっ?」と思いますよね。

答えは一つだけです。地域で生まれ育った子供たちを地域の企業で働いてもらうことです。地域を過疎化させるか活性化させるかは、中小企業経営者にかかっているのです。私たちに大事なことは、数字をしつかり捉え、対策・計画・方針を考え実行していくということ。藻谷氏から教わりました。いつも我々がやっているPDCAです。(次頁表参照)

会員の声

経営指針担当ブロック長



英設備工業 有限会社 代表取締役 荒川 雅光

私は二年前に筑豊支部(現のおがた支部)の一員として同友会に入会しました。経営指針書も持っていなかった私は、まさにどんぶり勘定で、眠れない日々で経営をしていました。しかし、先輩の紹介で同友会に入会し、二泊三日経営指針作成セミナーで経営指針書を作成した日から状況は一変しました。今では支払いも計画的にできていますし、設備投資も計画的にスムーズに行えるようになりました。少なくとも不安で眠れないということがなくなりました。

本年度より田川支部が発足しました。私は経営指針の担当ブロック長として、自分の体験をもとに計画のない行き当たりばったりの経営がどんなに危険かというところに気付いてもらい、経営指針書の重要性・必要性を理解していただいていたので「支部会員全員が経営指針書を持つ」という目標に近いと思います。

経営指針担当ブロック

(企業づくり)

荒川 雅光 ブロック長

「経営指針書なくして企業の継続なし」ということで、会員の指針書づくり100%を目指します。

地域教育担当ブロック

(地域づくり)

大田 明文 ブロック長

子供たちに地域に残ってもらう活動を学校と連携し信頼関係を構築して、地元の学校とのキャリア教育の推進を行います。

産業振興担当ブロック

(同友会づくり)

吉積 正三 ブロック長

田川市の中小企業振興基本条例に基づく振興会議に参加して、まちづくりに深く関わり、同友会活動を広める活動を行います。

100年企業が『改革』に挑む

～『労使見解』を学び、ブレない心で～



同友会との出会い

工芸品の里・筑後で、御簾屋といわれ、八女郡中広川村で簾を作っていました。地域のいくつかの工場を束ねて販売会社を鹿田産業として創業させました。現在、商品構成は、簾のほか、籐製品（家具・敷物）やムートン（敷物）など天然素材のインテリア製品がメインとなっています。

鹿田和正さんは小さいころからモノづくりが好きでした。モノづくりでブランドとしてエンドユーザーに使ってもらうことに喜びを感じており、電機メーカーに就職しました。サラリーマンを8年経て、父親に乞われて入社してみると、ジリ貧の売上で膨大な在庫、

100年企業というのは、永くお客様に支持されている証。環境の変化に危機感を覚え、新しいビジネスモデルに取り組んでいます。

取材担当 菅原 弘（東支部）
写真 富谷正弘（支海支部）

株式会社 鹿田産業
代表取締役社長 鹿田 和正 氏

福友支部

株式会社 鹿田産業

創業 1912年(大正元年)
住所 八女郡広川町太田428
住 電 0943-32-1141
従業員数 29名
HP-URL <http://shikada.co.jp>
事業概要 すだれ・籐敷物・籐家具・ムートン・い草製品を百貨店販売・通販・卸売で全国に販売。



その管理が疎かなこと、恒常的な値引き商売に危機感を覚えました。そして迎えた2012年の100周年記念事業。幹部になっていった鹿田さんに銀行筋から今後の展望を聞かれても『ブランド化』という概念はあっても具体化した施策がありませんでした。鹿田さんが取り組んだのは、社員の人材育成。地獄の特訓や各種セミナーに参加しても一時的な効果に過ぎませんでした。「鹿田さん、あなたが変わらなければ会社は変わりませんよ」という言葉に目が覚め、勧められるままに同友会を訪ね、福友支部の『経営指針発表会』に参加しました。「もう衝撃でした」と鹿田さん。すぐに入会しました。社員

地域教育担当ブロック長

合資会社アトム 代表社員 大田 明文

地域教育担当を任せられ、地域に子供たちを一人でも多く残せられますように、学校や子供たちとの信頼関を作り、私たち会員の経営環境を整備する勉強会を開催して、頑張りたいと思います。



吉積商会 代表 吉積 正三

産業振興担当ブロック長

田川支部が設立されて二ヶ月が過ぎました。新米ブロック長の私は、分からないことばかりです。先輩方の背中を見て日々勉強の毎日ですが追いつき追い越せるように、日々頑張っています。

田川市中小企業振興基本条例の作業部会に出向き、学ぶことが沢山あります。メンバーと切磋琢磨して地域のために頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。

藻谷浩介氏の講演で分析していただいたことで、会員の皆様に共有したいこと。イメージで捉えず、数字で事実を捉えないと方向性を間違える。

- ①日本はアメリカから輸出で儲け、オイル(石油)のために中東に儲けた金を全部使っている状態である。少しでも、エネルギーシフトに取り組み、儲けた金を日本に残さないといけなない。
- ②国内での問題は、人口。地方から子供がいなくなっている。福岡市も例外ではないバランスとなる。2010年から2015年での人口の増減を割合で示したものです。

	田川市郡		飯塚市	福岡市	首都4都県	隠岐の島
総人口増減	132.8千人→126千人	△6.8千人	△1.6千人	+6.1万人	+38万人	△29人
0歳～14歳の人口	16.8千人→△1.0千人	△5%	±0%	+4%	△2%	△2%
15歳～64歳の人口	73.9千人→△9.1千人	△11%	△7%	+1%	△3%	△1%
65歳以上の人口	41.9千人→+3.2千人	+8%	+12%	+20%	+17%	△1%

田川市郡 全国平均の割合で子供ができていながらもかわらず、15歳を超えると田川からいなくなる。同じ割合で減り続けると40年で子供がいなくなる。子供を育て、都市に労働者を送り続けているだけである。若い人は、田川から出て行くから、いずれ年寄りも少なくなる。福祉はOKだが、看護師や介護士が足りない。

飯塚市 田川ほどではないが、労働人口が減り、年寄りの増え方が多い。介護施設が足りなく、看護師や介護士が足りない。70年で現役世代がゼロになる急速な減少。

福岡市 日本の中で、いま最も勢いよく人口が増えている。ただ、労働人口はわずか1%の伸びで、年寄りが異常な+20%と年寄りだけが伸びている。将来、病院・介護施設がバンクする。看護師・介護士がまったく足りなくなり、生活するには不便な場所となる。

隠岐の島 300年後にも変化がなく、安定した状態。ここにヒントがある。考え方、やり方次第で地方の方が生き残れる。

総括

早急に、子供を増やし、地元の子供たちを地元に残す取り組みを行わないと、年寄りだけの街になってしまい、街は活力を失い中小企業の経営が厳しくなる。

日本の伝統文化「簾」に根付く 100年企業のストーリーをブランド化 「なぜ簾を使うのか」をビジネスへ

強会があるのを知り、門を叩きます。その後福岡県が支援を伝統工芸品のブランド化やIT化の支援を行う事業に参加し、その企画で関東での展示会や販路開拓を模索していきます。今後も外国人観光客が来日し、インバウンド需要は拡大すると予測しています。外国人に「なぜ簾を使



すだれの端を揃える作業の様子



すだれを編む作業の様子

共育、事業承継、就業規則作成、新卒採用と経営課題ごとの委員会に参加していききました。その中で共通のキーワードとして出てくるのが「労使見解」でした。「これは何だろう？」と思って事務局を訪ねました。さぞかし分厚い本が出てくると思っていたら、目にしたのは薄い冊子「人を生かす経営」でした。

労使見解って何？

冊子には概ね次のようなことが書いてありました。

- ・すべての責任は社長にある
- ・社員をパートナーと考える
- ・経営指針書を作成し実行する

社長に責任があるのは認識していません。しかし「経営者と社員は平等」という部分が理解できません。鹿田産業はカリスマ性を発揮してトップダウン



ショールームには様々なデザインのすだれがあります

で来た会社でした。しかしその存在がいなくなると、ビジョンがないまま目の前の仕事をやり続けるだけ。糸の切れた爪のようになったのも事実です。その頃、鹿田さんは販路拡大で東京に進出していました。そこで「人を生かす経営」の著者の一人・田山謙堂さん（東京同友会）の講演を聞く機会を得ました。多くの苦勞を経て「社員をパートナーと見なし、社員の自主性を引き出す人間尊重の経営の必要性」を説いていました。将来を見据えた上、研ぎ澄まされた文章でできあがったことも知りませんでした。

どの部分を社員と平等だと認識しておくべきなのか？一字一句、「人を生かす経営」を読み解く必要性を感じました。社員をパートナーだと思つて、職務を全うしなければ、驕りや権利ばかりを主張する徳のない経営者になるという戒めだと感じました。「とても感動しました。併せて、経営指針書を作成する必要性を痛感しました」

同友会の経営理念作成の「あすなる塾」を経て、2泊3日の「経営指針作成セミナー」を受講しましたが、納得できる経営指針書ができませんでした。福友支部の「末政塾」に通うことになりました。末政ヒロ子さん（株ボポロン企画）とのマンツーマンの指導の中でこう指摘されました。

「鹿田さん、あなたは『負の遺産』だらけの会社を引き継ぎ改革をしよう、と考えています。継承者として全くわかっていません。そこがわからないと

と俗界の間仕切りをするものです。例えば参道の入り口にある鳥居、社の前面にある注連縄などがそうです。ご神体の一番そばにあり、中が見えそうで見えない間仕切りが簾「御簾翠」なのです。その御簾は、神道と深く関わっており、来客をもてなす「室礼」のための調度品として貴族社会に普及しました。そのような日本の伝統文化に深く根付いた簾を、創業100年企業が作っているというストーリー性が他の商品のブランディングに生かせる。その強みを活かして何を売るか、和空間

うのか」を伝えると非常にいい手応えがあります。そこで東京オリンピックを前に「和モダン」をコンセプトとした好評を得ています。近年は、もともと東京進出時に構築した業務用市場への簾販売網を生かして、旅館、飲食店への和空間提案メーカーを目指しています。国内人口増が見込めず市場縮小が確実視されるなかで、インバウンド（外国人観光客）や外国人富裕層をターゲットとした海外への展開にビジネスモデルを変えます。

こうした理念・方針を取り入れた経営指針書を、平成26年に福友支部の「経営指針発表会」で初めて発表しました。

組織的に取り組む

経営指針書の日標を実現するには、社員を巻き込まなければ実行できません。経営者自ら現場の仕事ばかりしては、主体的に動く社員が育ちません。「今までは先代の事業でそれなりにメシを食うには困らずにきていました。実際には属人的な数字に支えられていました。組織として明確な方向性を示せずにいました。私がブレることなく労使見解の学びを活かして、社員が自

その2カ月後には社内でも正式に発表しました。エンジニア肌の6代目は、プログラムソフト事業を手掛けており忙しくなっていました。2年の社長職を経た後、代表権を持つ会長に就き、平成28年鹿田さんが7代目に就任しました。2年前に第2の創業を目指した経営指針書を導入し、3年目で経営者になり、自らつくった経営指針書の具体的アクションを取り組み始めました。

新しいビジネスモデル

経営指針書では第2の創業をイメージさせるため、今まであった理念を変え、新たに「私たちは伝統技術を通じ

経営指針書は作れません」そこで言われたのは先代・先人の話を聞いて来いということでした。初代が創業した地に、倉庫があり、隣に旧役員が住んでいました。倉庫の周りは荒れ果てていたので、鹿田さんは草刈り鎌一つ手にして草刈りを始めました。やがてかの御仁が現れます。初めは世間話だったのがやがて会社に対する不平不満が次から次へと出てきました。「そういう気持ちで働いていたのか。これでは会社はよくならない」と気づかされました。一方、先代と苦勞して仕事をしたことに感謝の思いも伝わりました。先代の苦勞を実際に耳にすることは、改革一辺倒でその使命感で働いていた意識に変化が起きました。

その話を末政さんに報告すると、「創業者・先代を敬うことです。社員には上から目線ではいけません。負債を作った創業者ではなく、今まで苦勞して事業を継続した先代に感謝を抱き、社員にその気持ちを表しなさい」と諭され、やっと経営指針作成に取り掛かります。平成26年（専務時代）経営指針書を作りあげました。

「天然素材の心地よさとやすらぎを届けることで社会に貢献し、世界に通用するブランドを目指します」という理念を掲げました。同時に新しいビジネスモデルの構想を練り、自社の強みを改めて考え、「簾を作っている100年企業」という結論に至りました。まず客観的なお墨付きをいただくことがいと考えました。翌年、福岡県知事指定・特定民芸品の認定を受けました。同時に補助金を受け、情報が入ってくるようになりました。簾は大きく2つの目的があります。日除けという機能的な簾と、結果の役目を果たす簾です。結果とは神聖な域



すだれねじり編み織機



様々なデザインの商品が置いてあります

主的に活動できる環境をつくっていきます」鹿田さんは共同求人委員会の合同入社式、共育委員会の社会人例会や幹部育成研修など積極的に参加しています。半年ごとに開催される経営指針発表会では、社長が方針を示し、同友会に做ってテーマごとにグループ討議をしています。「回数を重ねるにつけて積極的自主的な発言・行動が出てきました」と目を細めます。社員が成長できる機会を作るのが社長の仕事と捉えています。鹿田さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「まず、社長が学ぶ。その学んだことを社員が学ぶ環境をつくる。そして自己成長を組織的にしていく会社。今までは個人の能力に頼っていました。これからは組織的に全社一丸となって取り組んでいきます」と締めていただきました。取材協力ありがとうございます。

株式会社 Zephyr Design

・インテリアディレクター 住まい・店舗などのトータル
・室礼ディレクター プロデュース・デザイン提案
・トータルカラーアナリスト ~施工業務



代表取締役
インテリアディレクター
かんたけ みさこ
寒竹 美佐子
(南支部)

皆様こんにちは。寒竹美佐子と申します。新築からリノベーションまで、戸建住宅・分譲マンション・店舗等においてより素敵に、快適に、効率よく活用できるかを追求した空間の提案・トータルプロデュースを行なっています。空間設計、インテリアデザイン、コーディネート~施工業務まで、インテリアに関連する業務全般、オリジナルインテリア商品・商材などの販売、専門学校・大学での講師、各種講演・研修なども行っています。16年のフリーランス活動を経て、7月に法人化したしました。ビジネス・経営についてこれから沢山のことを学びたいと思っています。ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

福岡市博多区博多駅前1-9-8ケイアイビル5F
TEL:092-441-1051

株式会社サークワイド

オーダーメイドウェルカムドールと
制服リメイク専門店「スモールハビネス」の運営



代表取締役
とう としひろ
藤 俊広
(南支部)

こんにちは株式会社サークワイドの藤 俊広(トウトシヒロ)と申します。インターネット販売専門のショップ「スモールハビネス」を運営しております。事業内容はオーダーメイドのウェルカムドール衣装製作やミニチュア制服製作、ウエディングドレスや制服をぬいぐるみサイズにリメイクして販売しております。今回ご紹介を受けて同友会に入会させていただきました。入会して間もないですが、各種ミーティングに参加させていただいて大きな刺激を受けております。今後、たくさんのご指導をいただいで学びたいと思っております。よろしくお願いいたします。

粕屋郡篠栗町大字篠栗3697-3-101
TEL:092-947-0765

エス・ケイコーポレーション株式会社

婦人服の販売・卸



取締役
総務経理部長
のぐち だいすけ
野口 大介
(福友支部)

父がお世話になっている方に紹介していただき、4月から福友支部に入会しました。弊社は婦人服の小売・卸を行なっており、店舗は島根・広島~九州、沖縄で展開しております。同友会では、経営について学ぶと共に、様々な業種の方のお話を聞くことで、自分の世界を広げていきたいと思い、参加しています。よろしくお願い申し上げます。

福岡市博多区博多駅前2-20-1大博多ビル4階
TEL:092-474-1300

吉村泰美社会保険労務士事務所

労働・社会保険手続き代行、就業規則・諸規定の作成・
改定、助成金活用支援



代表
特定社会保険労務士
よしむら やすみ
吉村 泰美
(福友支部)

はじめまして 社会保険労務士の吉村泰美です。平成21年に社会保険労務士資格を取得後、平成27年1月に素晴らしいお客様とご支援くださる方々に恵まれ開業いたしました。助成金活用支援を得意としています。ご相談を受けることこそが私の喜びです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

福岡県那珂川町今光4丁目58-1-401
TEL:092-775-5228



「コミてん」外観

「それって どーゆう会?」

ラジオ番組「コミてん」
福岡県中小企業家同友会の提供番組

文責
有限会社一柳 専務取締役
納富 輝子(福友支部)

「2時を回りました。77.7 コミュニティラジオ コミてん 『それって どーゆう会?』金曜日の昼下がりのひと時、どうぞゆっくりお付き合いください」と、軽快な語りで6月9日から同友会提供の番組が始まりました。

パーソナリティは元RKBアナウンサーの野川真里さん。毎週金曜日午後2時~2時55分。毎回2名の同友会の会員に登場してもらい、会社&商品紹介、同友会の活動について、社長の素顔、仕事の流儀、座右の銘、様々なエピソードなど楽しく語っていただく番組です。初回は、有田電器情報システム株式会社の有田栄公さん、貼りアップ株式会社濱田浩光さんでした。

ON AIR

野川 「有田さんと濱田さんにとって同友会ってどーゆう会?」

有田 「3年ごとに課題が変わるんですけど、どうしたら解決できるかをとことん追求して考える場であり、解決したらまた新しい課題を見つけ挑戦しています」

濱田 「事前の説明なしで、自分の悩みを吐露したらみんな聞いてくれるんです。いつも話している経営者仲間なので、話しながら解決していますね。それと月に1回の例会で経営者の体験報告というものをしていますが、自分より大変な困難をよく乗り越えられているなと思うと、自分の悩みがちっぽけなものに感じられたりしますね」

野川 「有田さん! 座右の銘は何ですか?」

有田 「そうですね。私は『遠山無限碧層々』という言葉が好きです。遠く碧く山々が重なり連なり、限りなく続いている。ひとつこえてもまた山、永遠に続く連山のように、一つの目標を超えてもまた山。さらにまた新たな目標に向かって挑戦し続けるという意味です」

野川 「まあ!なんとと壮大で素敵な言葉ですね!有田さんの生きざまを象徴しているようですね。濱田さんは、同友会の会員企業を募って共同で求人活動というものをなさっておられる委員長だそうですね」

濱田 「はい、『共同求人委員会』という会です。合同説明会をして、4月には入社式、新入社員研修までしています。若者が働くことの面白さや、自分の夢を見つけることができる場が中小企業にはいっぱいあるということを言いたいですね」



共同求人について語る濱田浩光さん



オンエアの様子



流れているラジオをインターネットで視聴可能

楽しく和やかにトークが進み55分があっという間でした。仕事に向かう真摯な姿勢と、ゆるぎない信念に裏打ちされた優しさが滲み出た、経営者ならではの元気になるトークでした。

左から納富、野川真里さん、濱田浩光さん、有田栄公さん



7月 18:30~21:00 **田川支部 8月例会**

子供たちが夢や憧れをもって働ける企業になる。
楽しくなければ仕事じゃない!

～社長!あなたは間違えている。社員と一緒に楽しめば、結果は後からついてくる～
■たがわ情報センター 田川市番町2-1 ☎0947-49-3220
■佐々木 智史氏 株式会社PANET 代表取締役 田川支部
みなさんの会社には就業規則がありますか?就業規則があっても、社長が1人で作り、社員に見せず、机の中にしまっかけていませんか?せっかく就業規則があったとしてもお飾りでは勿体無い!就業規則を社員と一緒に共有し、内容を分かち合い、より良い労働環境、活気ある職場作りへと繋げる。今回はそんな就業規則作り、職場作りに取り組み、社員と一緒に仕事を楽しんでいる佐々木さんにお話しいただきます。

10月 18:00~22:00 **東支部 8月例会**

「福博燃ゆ」～福岡大空襲と戦後復興の軌跡～
■ホテルセンターザ博多 福岡市博多区博多駅前中央街4-23 ☎092-461-0111
■岡部 定一郎氏 郷土史研究家
実際に福岡大空襲を体験された、歴史の語り部である岡部氏。当時の体験を交えながら、博多の町が福岡大空襲から復興し、今日の姿を取り戻すまでについてお話しいただきます。

17月 18:30~21:00 **中央支部 8月例会**

勤と経験と度胸だけでいいの?
経営指針書が、自分を変えて会社も変えた!
～経営指針書作りと企業変革支援プログラムの実践～

■天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
■吉武 鑑泰氏 株式会社良久良久 代表取締役 久留米支部
経営指針書がない6年間。同友会と経営指針セミナーとの出会い、経営指針書を作ってみたものの社員が反発、そして誰もいなくなった。それでも経営指針書を作り続けて、企業変革支援プログラムで行った経営の自己検証から、見えてきた課題と成果を報告します。

17月 18:30~21:00 **福友支部 8月例会**

■WITH THE STYLE 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
■浜田 忠陽氏 有限会社浜田屋 代表取締役 福友支部
会社を永続発展させるために、自社に関わってくたさる方々の満足感を高めることを意識した経営者の在り方を、報告者の経営体験をもとに学びます。

18月 18:30~21:00 **ひびき支部 8月例会**

自社の成長と発展
■コムシティ会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■有田 栄公氏 有田電器情報システム株式会社 代表取締役社長 飯塚支部
先輩経営者も通ってきた苦労や成功の実体験を時系列で体験報告していただき、従業員の雇用の(募集・就業規則・給与体系)を実践的に学びます。また、雇用後の個性を伸ばす環境づくり、またスキルアップをどう行うのかを学び、同友会の掲げる人を活かす経営について、体験報告を通じて学びます。

第25期 役員研修大学 第2講

2017年度は全6講座として企画し、第2講を開催します。役員研修大学では、会社を維持し発展させるために、自らの資質を高め、どう経営環境を変えていくのか。そのために同友会の歴史及び理念と実践を学ぶ場となります。

日時 **8月29日(火)** 17:00~20:00 会場 **ベルテクネ(株)**(旧 株式会社 鐘川製作所) 糟屋郡須恵町大字上須恵1495-1 TEL 092-932-4166

テーマ **指針を作成し、社員とともに実践**～経営指針の重要性～

報告者 **鐘川喜久治氏** ベルテクネ(株)代表取締役(旧 株式会社 鐘川製作所)
経営指針について社員とともに作成・実践した経過、その実践の過程で企業の成長と社員の成長に繋がってきました。また、新たな戦略としての事業展開が動き出しました。

●会社見学の後、報告いただきます。
●終了後報告者を囲んで懇親交流会を開催します。

8月の

18月 19:00~21:00 **筑紫支部 8月例会**

納涼会
■森のログレストラン アラスカ 筑紫野市武蔵2-8-28 ☎092-928-1377
「森のログレストラン アラスカ」にて納涼会を行います。親睦を深める良い機会になりますので、是非ご参加ください。

18月 18:30~21:30 **久留米支部・有明支部 8月合同例会**

県南地区と県南事務所の連携
■(株)萃香園 久留米市柳原町87 ☎0942-35-5351
■緒方 徹氏 有限会社緒方板金 代表取締役 久留米支部
■竹下 政敏氏 竹下産業株式会社 代表取締役 有明支部
■坂田いずみ氏 (一社)福岡中小企業家同友会 事務局長
各支部と県南事務所とのかわりについて緒方久留米支部長・竹下有明支部長・坂田事務局長の3名によるディスカッションを行い、有明支部・事務局・新体制の久留米支部相互の連携を図ります。

19月 17:30~20:00 **西支部 8月例会**

西支部会員交流納涼例会
～家族で交流!夕日を見ながらBBQ in 西戸崎～
■ザ・ルイガンズ福岡 福岡市東区西戸崎18-25 ☎092-603-2525
8月の支部例会は、西支部恒例の会員交流納涼例会です。今回は、ルイガンズ福岡にて「知り合い・学び合い・活かし合い西支部づくり」をすすめてまいります。お子様からお孫様、お父様、お母様といったご家族、敏腕社員、新社員の参加もOKです。

19月 11:30~14:30 **南支部 8月例会**

納涼会 ■筑前海 糸島市志摩芥屋890 ☎092-328-2301

19月 14:00~17:00 **事業承継塾第2講**

事業承継のポイント
■電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
■釜堀 隆司氏 釜堀税理士事務所 税理士 かすや支部
昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。(受講料:2,000円)

20月 10:30~13:00 **青年支部 8月例会**

懇親会 ■THE BEACH(ザ・ビーチ)横 福岡市早良区百道浜2-902-1 マリノン横

行事案内

22月 18:30~21:00 **博多支部 8月例会**

しくじり先輩 ～経営者のやっばいはいけない～
■TKPガーデンシティ博多アネックス ☎092-433-0520
福岡市博多区博多駅前4-11-18 ホテルサンライン福岡博多駅前 2F
■吉田 浩二氏 古松建設株式会社 代表取締役社長 博多支部
■松藤 嘉美氏 アール・シー・アイ株式会社 代表取締役 博多支部
物事に成功するには、人それぞれの理由があります。今回は、成功者がやったことよりやらなかったことに着目することで、できることに集中し、逆にやれることを広げていくことを学びたいと思います。

22月 18:30~21:00 **玄海支部 8月例会**

(仮)「待ったなしの事業承継」～あなたならどうする?～
■天神ビル11階9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■伊吹 昭氏 株式会社SE経理計算センター 代表取締役 玄海支部
報告者の事業の現状を赤裸々に報告し、事業承継をどう行うかを貴社の事業承継も含めて考察する。

22月 18:30~21:00 **糸島支部 8月例会**

「働きたい!」眠れるママ人財の発掘が
自社と地域を発展させる

■前原公民館 大会議室 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
■田中 彩氏 NPO法人 ママワーク研究所 代表理事 福友支部
今後、人材不足が長期化していく経営環境の中、報告者が実践する三方よし事業は参加企業の気づきや新たなアイデアにつながります。起業からこれまでの経営体験報告を聞くことで、そのビジネスアイデアができたのは何故なのか、それを全国に展開できているのは何故なのかを学び、自社に落とし込むことで参加者の今後の持続的経営に活かせる内容となっています。

22月 18:30~21:00 **北九州支部 8月例会**

よい人間関係をつくろう

■TKP小倉駅前ビジネスセンター9階
北九州市小倉北区浅野2-14-2 小倉興産16号館9階
■宮脇 伸二氏 株式会社セールスアカデミー 代表取締役 福友支部
どんな企業においても業績をあげるためには、営業力を強化していかなければなりません。特に私共を取り巻く環境が厳しさを増す中でどのようにこの課題に対して取り組んでいくのか。一つの切り口として「営業に悩む貴方に明るく未来を!」をもとに成果を上げていけるよう、また参加者の取組を聞くことから自社に反映できる学びの場とします。

22月 18:30~21:00 **企業連携推進委員会 FAST8月例会**

IT系3団体連携による企業支援サービス(仮)
■福岡県中小企業振興センター301B会議室 ☎092-622-6230
福岡市博多区吉塚本町9-15福岡県中小企業振興センタービル3階

24月 18:30~21:00 **飯塚支部 8月例会**

古い家族経営からの脱却 ～信頼できる人材育成を目指して!～
■バドゥ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■中村 大吉氏 株式会社なかむら 代表取締役社長 飯塚支部
創業50年になる樹なかむらの中村氏。現相談役である父の考えでトップダウン方式に多角経営を進めていく中、特に人材育成にも取り組まず、各部門の責任者に任せきりな経営に。このままでは会社の将来が危ないと存続の危機さえも感じ始めました。新たな人材採用、社員教育をして組織経営を目指したい、また自分の右腕になる様な人材も欲しいと悩むようになった経緯を報告していきます。

お問い合わせの方を誘って、是非ご参加ください。お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

24月 18:00~21:00 **福博支部 8月例会**

納涼会
■福新楼 福岡市中央区今泉1-17-8 ☎092-322-2481

24月 18:30~21:00 **りょうちく支部 8月例会**

The 断捨離 ～お部屋のなか、頭の中を整理するために～
■原鶴温泉泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
■壇 洋子氏 福岡断捨離会 代表(トレーナー)
なぜ今、断捨離が必要なのでしょう?それは変化の激しい時代だからこそ、変わるためにまず手放すことが必要になっているからです。しかしながら、なかなか持っているものを手放すことや、変化することに躊躇する方が多いと思います。その理由は「本来、人は変化を好まない」からです。しかし今の時代、変化をしないと生き残れないのです。

25月 18:30~21:00 **女性部委員会 8月例会**

■天神ビル11F会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

第17期 経営指針作成2泊3日セミナー
8月25日(金)~8月27日(日)
■中小企業大学 直方校 直方市永満寺1463-2 ☎0949-28-1144
「あすなる塾」での学びをさらに深め、あらたに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を実際に作成します。定員30名。
参加ご希望の方は、まずは事務局 森元(TEL:092-686-1234
メール:r_morimoto@fukuoka.doyu.jp)までお尋ね下さい。

28月 18:30~21:00 **のおがた支部 8月例会**

組織経営の最初の1歩 ~1人から2人 2人から3人への組織経営へ~

■直方市中央公民館 直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
■金川 俊一氏 有限会社ビッグロード 代表取締役 東支部

会社の規模を大きくしていくには、社員の増加・社員のちからが必要になっていきます。しかし、雇用をしていくには、様々な問題が起きていきます。初めは、美容室を3名でスタートした金川社長ですが、今現在は6店舗の美容室やカフェを経営されています。どのようにして強い組織を作ったのか、問題が起こった時にどう解決したのか、店舗展開するマーケティングなど報告いただけます。

29月 18:30~21:00 **かすや支部 8月例会**

女性の力が店の力
■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234
■若菜 真一氏 有限会社若菜クリーニング 代表取締役 福友支部
83年続いている老舗クリーニング店の3代目として事業承継した苦労・失敗談、同友会に入るきっかけ、クリーニング業界の現状と自社でしている差別化戦略等を発表していただきます。常識にとらわれないユニークな人材教育、従業員との接し方、経営哲学まで熟知、参加者にも問いかけます。

30月 18:10~21:30 **大牟田支部 8月例会**

補助金活用術
■グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212
(公財)大牟田市地域活性化センター
■長崎 英範氏 技術アドバイザー
■宮田 勝治氏 技術アドバイザー
■小林 晃氏 技術アドバイザー
■片山 洋氏 取引拡大アドバイザー
■武末 定則氏 取引拡大アドバイザー
中小企業経営者は、設備投資・宣伝広告・ブランディング等を一人で行うことが多く、人・物・金をうまく回しながら、会社にお金を残さなければなりません。とりわけ積極的な設備投資は中小企業には不利です。しかし、近年中小企業に設備投資をしやすくする法案が続々と通過し、絶好の機会が到来しています。これを自社に落とし込むために学びます
(18:10~19:30例会、19:30~21:30個別相談・交流会)

「7月5日からの大雨による災害」へのお見舞い

7月5日からの大雨による災害により、多くの方が被害に遭われています。

犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、
被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

当会におきましては、県南の複数の会員さんが被害に遭われています。
会員さんご本人だけでなく、社員さんやそのご家族の皆さまのことを考えますと、
皆さまのご心労はいかばかりかとお推察申し上げます。
今後も予断を許さない状況が続きそうですが、これ以上被害が拡大することなく、
一刻も早い復旧と普段の生活が戻ることをお祈りしております。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会
代表理事 田浦 通
代表理事 樋口 康治
代表理事 新内 一秋

2017年度 第2回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2017年6月28日(水) 14時30分～17時30分
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室

出席 50名(出席率78.1%)
議長 光本智恵子(副代表理事)

協議・審議事項

1. 第49回中同協定時総会にむけて

総会代議員の承認について

第49回中同協定時総会の参加予定者を確認し、参加者を総会代議員として承認した。

2. 会費未納による退会、未収金状況

総務財政室長より、会費未納による退会者1名が提案され、審議の結果承認された。

理事会報告全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

報告事項

1. 会員データベース構築進捗状況

下記の通り、データベースの進捗状況の報告があった。
・当初の予定通り、10月本稼働に向けて進んでいる。
・7/11(火)に会員管理と行事管理の教育を行い、8月までテストを行う。
・8月より財務関係、e.doyu連携などについて教育を行い、9月までにテストを行う。
・10月から本稼働を行うが、10月～11月までは旧システムと並行して運用する。

2. 会員企業の動きなど

「見る資料」にて紹介。5/26～6/23の間に会員企業9社(のべ16社)が新聞に掲載された。



共通の話題に
花が咲いています



夕食は全員で
懇親会



日田温泉にて
忘年会旅行



金沢/山中温泉
和菓子屋でお茶会

わが社の主要商品は3つございます。
一つ目は「店舗でのバック旅行販売」
二つ目は「営業マンによるグループ・
団体旅行の企画やお見積り」そして三
つ目が今回メインで紹介させていただ
く弊社オリジナル旅行「ツアー」で
す。福岡県下70～80代のお客様を中心
に2泊3日の温泉バスツアーを実施し
ています。旅はゆつくり落ち着いて、食
事はみんなで楽しくという基本理念に
共感し、参加していただいております。
一般的なツアーは早朝に出発、夕方
遅く宿に着き、翌朝、慌ただしく出
ていくと思うのですが、当ツアーはお昼
頃に出発し、宿での滞在時間を長く取
りますので、ゆったりとした時間の流
れを感じていただける旅となっております。
また、食事は懇親会形式をとっ
ております。これは、お客様同士が顔
馴染となつて次の参加時に「この間も
一緒でしたよね」と声を掛け合える仲

かなめ
要は心が喜ぶ場面作り
旅は一つの手段に過ぎません。

になつてもらいたいためです。旅はど
こへ行くかも大事ですが、どんな
人達と過ごすかはそれ以上の価値を産
むような気がします。
基本的にはバスで行ける九州・山口
地方の温泉地が中心なのですが、番
編としてお客様の趣味嗜好や希望を形
にし賛同者を募ることで本州など遠方
へ行くこともあります。
今後の展開としては、旅に拘らず各
種専門家の方々と組んでセミナーや食
事会などのイベントを提供していけ
ばと考えております。旅をはじめとす
る出張事は生活に張りを与えます。繋
がりを与えます。そうやって人を、地
域を元気にしていくことが弊社の役割
のような気がしてなりません。皆様の
まわりにこのような旅がピッタリだなど
思われる方はいませんか？
「こんな旅があるよ」と教えていただけ
たら幸いです。



大野城市乙金3-23-1イオン乙金北街区B
TEL 092-707-8700 FAX 092-707-8702
福岡県知事登録旅行業第2-83号

企業理念

共感し合う関係作りで
豊かな社会を実現

わが社のイノベーション



株式会社新日本観光(1968年9月旅行業登録・営業開始) 団体旅行から個人旅行まで取り扱い。
福岡と佐世保に各1店舗。現在オリジナル企画の拡充に取り組みんでいます。

2連泊がトレードマーク

筑紫支部

由利圭吾氏

Yuri Keigo



デンマークの子供

DENMARK SEMINAR 2017

日本とデンマークは1867年に外交を樹立して今年で150年になります。7月4日に開催された「DENMARK SEMINAR 2017」に参加いたしました。講師はデンマーク大使館投資部門長の中島健祐氏で、テーマは「北欧デンマークから学ぶ、しあわせに生きる知恵とは?」でした。デンマークは世界一幸福な国民として知られています。日本の幸福度は53位です。充実した社会保障だけで幸福になれるのでしょうか?

ではデンマーク人の考えるしあわせとは?

①本当のしあわせは物の豊かさや他人との比較ではなく自分の内面にある。

②自分の心の平安こそが本当のしあわせ。

そしてデンマーク人の幸福に生きる秘訣は次の3つにまとめられます。

①シンプルに生きる。物を少なくする。良いものを長く使う。家事をていねいに行う。

(しあわせの知恵-1 五感から入るノイズを減らす。)

②自然と共に生きる。幼少時に自然と触れ合う機会をたくさん与える。

(しあわせの知恵-2 五感を研ぎ澄ませて自然と一体になる。)

③自分を見つめ直す。人生の意味について考えてみる。他人のことは気にしない。過去を後悔しない。未来を心配しない。今を大切に。挑戦する。

(しあわせの知恵-3 自分の本当の主人になる。)

実はデンマークの人の生活スタイルはかつての日本人の生活を思わせるところが沢山あり、実際、彼らは今も日本に学んでいます。デンマーク人の生き方や考え方は良いヒントになりました。

日本らしいライフスタイルの確立が新たな産業を生み、文化を豊かにし、新しい価値創造を生み出すことができるのではないかと考えさせられる、密度の濃いセミナーでした。関心のある方は福岡デンマーク協会にご連絡してください。

(株)ココスイメージ
富谷 正弘 (玄海支部)

連絡先
一般社団法人福岡デンマーク協会
福岡市中央区大名1丁目2-20-307
メール: info@fda-japan.org



講師の中島健祐氏
(デンマーク大使館投資部門長)



講演会の様子



日本とデンマークは国交を樹立して
150年にもなります



デンマークの様々な幸福について
講演がありました



デンマークの子供たちは幼少時から
自然と触れ合います